

山形大学

# 校友会 会報

Yamagata  
University  
Alumni  
Association



## ご挨拶 設立10周年を迎えて



山形大学校友会 会長  
小山 清人  
(国立大学法人山形大学長)

山形大学校友会は、平成18年12月6日に開催された「各学部同窓会・後援会と山形大学との情報交換会」で設立が承認され、翌年の3月9日に第1回理事会で役員等を選出し平成19年度から事業を開始しました。

当初の事業は、学生の修学・課外活動・就職と保護者との連携の支援でしたが、現在は、更に大学運営や同窓会等に対する支援、会員相互の親交を図るための支援など幅広く行っております。これらの支援により学生達が明るく元気に大学生活を送ってくれていることは、大変喜ばしい限りです。

校友会は、保護者の方を含む学生の皆さん、卒業生の方々、役員・退職者を含む教職員等からの多くのご理解とご支援に支えられ、漸く10年を迎えることになりました。会員数も21,000人を超えるまでになりました。また、平成26年7月から大学のさまざまな情報を配信するメールマガジンも登録者が2,200人を超えようとしており、多くの方々に読んでいただいていることは大変喜ばしいと感じております。しかしながら、校友会は、やっと10歳になった訳ですから、人生で言えば未だ小学生ですので、これから更に成長し成人に向けて邁進して行かなければなりません。

今後とも、校友会はより適切な支援事業を実施することによって、「山形大学の学生・卒業生で良かった!」と実感してもらえるような会の運営に当たって行きたいと思っております。そのためにも、機会ある毎に皆様のご意見やご要望に耳を傾け、価値のある事業を展開したいと考えております。

最後に、この10年間を支えていただいた皆さまに心より感謝いたしますとともに、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

### Contents

校友会会長挨拶

これまで10年間に実施した事業の紹介

支援事業に参加した学生さんからのメッセージ

校友会のあゆみ

山形大学大学歌

山形大学学生歌「みどり樹に」

# これまで10年間に実施した事業の紹介

カテゴリ毎に事業の内容の中から実施状況を抜粋し紹介します。

## 修学支援事業



### 実践教育プログラム英語合宿

留学生6名を含む30名でワークショップを実施し2日間英語だけで過ごす合宿を開催。(2015)



### 大学院学生表彰(校友会長賞)

顕著な学術研究活動を行った院生11名を初めて表彰。(2014年度からスタート)



### 実践教育プログラム長期インターンシップに向けた現地研修

学生延べ30名が県内8機関を視察調査。(2015)



### 校友会推薦図書コーナー

先輩学生が後輩のために選定した300冊超の推薦図書を購入しコーナーを設置。

## グローバル化支援事業



### 成績優秀学生の留学

成績優秀な学生を短期留学に派遣し、語学力向上や異文化理解を図る。



### 大学間交流協定大学への短期留学

海外の協定大学に10名の学生を派遣し、異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図る。



### 博士課程学生研究発表奨励

国際学会での研究発表のために支援金を受領した大学院生、米沢工業会と校友会の関係者。



### グローバル化に向けた授業

ラトビア、エストニア、フィンランドに11日間の研修に参加した10名の学生と指導教員。

## 課外活動支援事業



### 八峰祭(小白川キャンパス)

キャンパス間シャトルバスの運行や3キャンパス大学祭への支援により活性化と一体感を醸成。



### ビーチサッカー大会 in 庄内

3キャンパス10チーム100人が参加し庄内浜で熱戦を展開。バーベキューで交流を深める。(2016)



### 公認学生サークル

遠征費の支援を受け女子バスケットボール部が台湾での国際大会に出場し活躍。(2014)



### 雪合戦大会

3キャンパス22チーム180人が参加し工学部運動場で気合い溢れる試合を展開。(2012)

## 就職活動支援事業



### 学生中心に行う優良企業訪問

学生キャリアサポーターが希望する企業を訪問し、山形大学の先輩や採用担当者と面談。報告書を作成。



### OB・OGフォーラム

民間企業に勤務する山形大学OB・OGを招聘し、後輩学生との座談会を開催。



### 首都圏開催合同企業説明会への参加と東京サテライト紹介

学生約70名が企業説明会への参加と東京サテライト見学。



### 長期インターンシップバスツアー

実践教育プログラムの一環で山形市や庄内地域の各機関を視察調査。

これまで10年間に実施した事業の紹介

2006 ▶ 2016

## 会員相互の交流支援事業



### 山形大学 OB & OG セミナー

首都圏の卒業生が参加し大学の現況報告と教員の講演を聴き、幅広い世代の交流を実施。



**卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援**  
人財バンクに登録された卒業生が自分の経験を踏まえ後輩学生にアドバイス。



**各学部同窓会及び校友会と山形大学との情報交換会**  
教育改革・学部改組と同窓会の諸課題について情報交換。(2016)



### 山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会

各同窓会の首都圏支部の会員と、若手卒業生の会の皆さんも参加し大学の情報発信と交流会を実施。



### 卒業生講演会

若手卒業生が大学時代での修学、課外・社会活動、就職活動や社会人としての心構えなどを後輩学生に伝授。



### 若手卒業生の組織化

首都圏の若手卒業生が集まり若手卒業生の会(ワークショップ)を開催。(2015)



### 各同窓会総会等への出席

校友会が各学部同窓会の総会や支部総会に出席し、卒業生と大学及び学生との連携強化に努める。



### 各学部同窓会東京(関東)支部と校友会との情報交換会

各同窓会との協力関係強化のため東京サテライトで開催し、卒業生等首都圏ネットワークの設立に繋がる。(2013)

## 大学・社会活動支援事業



### 東日本大震災復興支援ボランティア活動

支援物資の運搬、瓦礫撤去、ヘドロかき出し、炊き出し、自転車のリネウス等を実施。(2011)



### 新入生保護者と大学との交流会

新入生保護者との相互交流や親睦及び大学運営や教育研究等に理解を深め大学を身近に感じて貰うため、毎年実施。



### 科学で山形盛り上げ隊

科学実験を通じ被災地の子ども達に元気や笑顔、更に科学への理解と関心の向上に貢献。



オペラを核とした《附属学校との協働》及び《高大連携》の推進「アマルと夜の訪問者」の公演を開催し、地域の方々に活動をアピール。

校友会では、設立10周年記念事業として11月25日の記念講演会、記念式典及び記念祝賀会を含めて以下の9事業を計画しています。これまで、実施した幾つかの事業を紹介します。

1. 記念講演会の開催
2. 記念式典・記念祝賀会の開催
3. 校友会のシンボルネーム又は愛称の募集
4. 校友会会員「卒業同窓生の集い」への支援募集
5. 「関西セミナー by 山形大学」の記念開催
6. 学生による「校友会支援事業」成果発表会の開催
7. 新入生への入会記念品「学生朝食奨励券」の進呈

#### 将来、実現したい事業

8. 山大OB & OGセミナーの海外開催〈マレーシアなど〉
9. 小白川キャンパス内に「山大コミュニティーホール(仮称)」の開設



### 卒業同期生の集い等への支援

卒業生の校友会会員が同期会やゼミ会等で集まる会合に「全国共通商品券」を贈呈。



### 学生による「留学体験」の成果発表会

留学体験した先輩学生2名が後輩学生に留学先での修学や生活等を説明。



### 学生による「就活体験」の成果発表会

就職が内定した先輩学生17名が後輩学生約100人に就職活動体験談を分野別に説明。



### 新入生への入会記念品贈呈「学生朝食奨励券」の進呈

朝食を摂る習慣を身に付けて貰うため、4月の入学式において配布。



# 支援事業に参加した 学生さんからのメッセージ



## 博士課程学生研究発表奨励事業



大学院  
理工学研究科  
(工学系) 1年  
多田 悠樹さん

◀最優秀学生論文賞を  
受け取る多田さん  
(左側)

4月に中国安徽省合肥市で行われた国際学会(8th International Seminar on Fire and Explosion Hazards)で口頭発表をしました。初めての英語発表でしたから何度も練習し臨みましたが、日本人参加者は皆無で日本人の口頭発表は私のみとわかり、益々緊張しました。発表のことはあまり覚えていませんが、発表後の昼食会場でアメリカの参加者に発表を褒めてもらい、何とかなったのかなとほっとしました。私の発表は初日だったため、発表後はリラックスして参加できました。学会のバンケットも初めてで、見知らぬ参加者に囲まれての食事で更に緊張しましたが、いつの間にか盛り上がり、最後には中国の先生とカラオケでデュエットをしていました。

最終日のセッション終了後、フェアウェルパーティーで美味しい食事を楽しんでいると、遠くから私の名前を呼ぶ声が聞こえます。なんと、まさかの最優秀学生論文賞の受賞で、夢にも思っていなかったため、私服での授賞式参加も良い思い出です。このような貴重な経験を在学中にできたことは校友会支援事業があつてのことと大変感謝しております。これからも貴重な経験を一人でも多くの学生にして欲しいと思います。

## 新興国学生大使派遣プログラム



人文学部2年  
今野 真理子さん

◀日本語教室終了後に  
日本文化を紹介する  
今野さん(右手前)

北欧の文化を感じる建物と石畳の道、人々に賑わう旧市街、言葉も文化も全く異なる異国の地で過ごしたラトビア共和国での8月15日からの18日間は、私に大きな自信を与えてくれました。このプログラムは、校友会から支援を受けて大学で日本語を教えるものです。

日本語教室に来る学生の日本語のレベルは様々で英語でのコミュニケーションにより教室を開きました。最初は文化の違いに戸惑いの連続でしたが、そんな苦勞の毎日が私には刺激で溢れたものになりました。自分の英語が通じる喜びと気持ちを伝えられない悔しさ、その場の状況で対応できる力、置かれた環境に感謝する心など、ここで得た貴重な経験は、これからの自分を考える上でとても大きな財産になりました。そして、短期間でも海外に踏み出すことの大切さを痛感しました。このプログラムがこれからも継続して海外を目指す学生の背中を押し、海外への挑戦の一歩になって欲しいと願っています。

## 優良企業訪問バスツアー



理学部3年  
菅野 茉優さん

◀小森マシナリーでの  
菅野さん  
(3列目右端)

9月の校友会支援優良企業訪問バスツアー(東和薬品・小森マシナリー)に参加し実感したことは、やはり現地に足を運んで分かる「企業訪問の大切さ」です。工場見学では、実際に現場で働いている様子や会社の雰囲気を感じることができ、OB・OG社員との懇談では、人事の方には中々聞きづらいようなことも積極的に質問することができたことで、それまで抱いていたイメージがより具体的なものになりました。また、人事の方と直接お話しする機会、自分をアピールし、印象付けることのできるチャンスにもなる企画だと思います。志望理由書を書く際に企業訪問したという経験は、他の人と差をつける大きな強みになるのではないかと思います。

興味があった薬品系の職業研究の一環として参加したツアーでしたが、就活への意識を向上させる大変良い機会にもなりました。今後もこのような行事があれば積極的に参加していきたいと思っています。

## 公認サークルへの支援



地域教育  
文化学部1年  
高橋 かおりさん

◀日本インカレで  
競技する高橋さん

今年度の全国大会出場に際して、ご支援いただき心から感謝しております。校友会からのご支援のおかげで、9月の天皇賜盃第85回日本学生陸上競技対校選手権大会の走り幅跳びで7位に入賞し、10月の第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会では、私と柏倉康平君がそれぞれ三段跳びで4位に入賞することができました。遠征費や活動費など、本来ならば自分で費用を工面しなければならないところですが、家族や競技部後援会からの支援、そして何より校友会からの支援があり、大会に出場することができました。

来シーズンは今シーズン以上の成績を出すことで山形大学をより多くの人たちに知ってもらえるよう、これからもトレーニングを精一杯重ねていきたいと思っています。今後ともご支援の程よろしく願っています。

# 校 友 会 の あ ゆ み

## 平成18年～平成28年

平成18年	12月6日	各学部同窓会・後援会と山形大学との情報交換会：山形大学校友会を設立し会則を制定。初代会長に相馬健一氏を推挙。（同会は以後毎年開催。）
平成19年	3月9日	第1回理事会：理事等を選出し会長に相馬健一理事（ふすま同窓会）、副会長に今井昭二理事（米沢工業会）を選出。
	6月27日	第2回理事会：事業計画11件（全学対象）を承認。
平成20年	2月20日	第3回理事会：専門委員会の設置、大学役員からの理事選出等の変更（会則の一部改正）。
	6月30日	第4回理事会：事業計画8件（継続3、新規5）を承認。
平成21年	2月18日	第5回理事会：設置目的、会員構成及び役員選任、任期末日の変更等（会則の一部改正）。
	6月17日	第6回理事会：会長に相馬健一理事、副会長に今井昭二理事及び深尾彰理事（医学部）を選出。事業計画9件（継続5、新規4）を承認。理事数の増員（会則の一部改正）。
平成22年	2月17日	第7回理事会：補正予算（大学創立60周年記念事業への追加支援）を承認。
	3月5日	山形大学OBセミナー（現在はOB&OGセミナー）を開催。
	7月29日	第8回理事会：事業計画11件（継続7、新規4）及び予算案を承認。
平成23年	7月7日	第10回理事会：会長に相馬健一理事、副会長に結城章夫理事及び須賀一好理事（地域教育文化学部）を選出。事業計画11件（継続8、新規3）を承認。東日本大震災での被災学生への支援金1千万円を山形大学被災学生支援基金に助成し平成23年度入学被災学生の入会金免除を決定。
平成24年	6月19日	第12回理事会：事業計画18件（継続10、新規8）を承認。平成24年度入学被災学生の入会金免除を決定。
平成25年	2月15日	第13回理事会：目的、事業、賛助会員、会長及び副会長の選任等の変更（会則の一部改正）。
	4月1日	校友会会長に結城章夫山形大学長が就任。
	6月11日	第14回理事会：副会長に酒井順一理事（地域教育文化学部同窓会）及び阿部宏慈理事（人文学部）を選出。事業計画20件（継続9、新規11）を承認。
	12月14日	山形大学卒業生講演会を開始。
	12月21日	山形大学卒業生等首都圏ネットワークを設立。
平成26年	2月14日	第15回理事会：大学院学生表彰に関する申し合わせを制定。
	4月1日	校友会会長に小山清人山形大学長が就任。
	6月19日	第16回理事会：阿部副会長の大学理事就任に伴い神戸士郎理事（工学部）を副会長に選出。事業計画25件（継続15、新規10）を承認。10周年記念事業の実施を決定し企画検討Wを設置。
平成26年	7月15日	校友会メールマガジン「みどり樹通信」を創刊。
平成27年	1月21日	卒業生の人財バンク登録事業を開始。
	2月13日	第17回理事会：大学院学生表彰に関する申し合わせにより大学院生11名を表彰。
	5月～11月	卒業生アンケートを実施。
	6月24日	第18回理事会：副会長に長沼龍平理事（ふすま同窓会）及び神戸士郎理事（工学部）を選出。事業計画29件（継続22、新規7）を承認。
	12月19日	設立10周年記念事業（記念講演会、記念式典、記念祝賀会を含め9事業）を検討開始。若手卒業生の会を開始。
平成28年	2月19日	第19回理事会：大学院学生表彰に関する申し合わせにより大学院生14名を表彰。
	6月24日	第20回理事会：野村一芳理事（ふすま同窓会）を副会長に選出。事業計画27件（継続23、新規4）を承認。大学院学生表彰を「校友会会長賞」と名称を明確化。設立10周年記念9事業の実施を承認。校友会事業運営等への学生の参加を検討。
	11月25日	校友会設立10周年記念事業「記念講演会、記念式典、記念祝賀会」を実施。

## 校友会の歴代会長・副会長

会 長：	相馬 健一	平成19年3月9日から平成25年3月31日
	結城 章夫	平成25年4月1日から平成26年3月31日
	小山 清人	平成26年4月1日から現在に至る
副会長：	今井 昭二	平成19年3月9日から平成23年7月6日
	深尾 彰	平成21年6月7日から平成23年7月6日
	結城 章夫	平成23年7月7日から平成25年3月31日
	須賀 一好	平成23年7月7日から平成25年6月10日
	酒井 順一	平成25年6月11日から平成27年6月23日
	阿部 宏慈	平成25年6月11日から平成26年6月18日
	神戸 士郎	平成26年6月19日から現在に至る
	長沼 龍平	平成27年6月25日から平成28年6月23日
	野村 一芳	平成28年6月24日から現在に至る

# 校友会

# 山形大学大学歌

作詞：石先 麻美・難波 千鶴  
作曲：大谷 靖夫  
編曲：中村 康就

山形大学大学歌は、平成21年に創立60周年を記念し、歌詞の募集を行い、当時地域教育文化学部4年在学中の石先麻美さんと難波千鶴さんの作品が選ばれました。作曲は山形市出身の作曲家大谷靖夫氏に依頼し、平成22年3月に本学大学歌として制定されました。

※この事業は校友会の支援により実施されました。



大学歌  
ダウンロードは  
こちら

大学のホームページからもダウンロードができます。

- 春風に 希望をのせて  
桜の光 仰ぎ見る  
若葉の緑 きらめいて  
力みなぎる 若き瞳  
決意を胸に 手をつなぐ  
我らが学び舎 山形大学
- 知を深く 真理を求め  
語りあかそう 集い来て  
星のまたたき 想い馳せ  
学びを拓く 強き瞳  
己を信じ 進みゆく  
我らが学び舎 山形大学
- はるかなる 未来を照らし  
流れる川の 絶え間なく  
日々を彩る 雪模様  
次代を担う 明き瞳  
夢を抱いて はばたこう  
我らが学び舎 山形大学

1. 2. 3. はるかなる 未来を照らし 流れる川の 絶え間なく 日々を彩る 雪模様 次代を担う 明き瞳 夢を抱いて はばたこう 我らが学び舎 山形大学

# 山形大学学生歌「みどり樹に」

作詞：菅原 威  
作曲：橋場 富藏

山形大学学生歌「みどり樹に」は、昭和33年全寮々歌として現在でも永く歌い継がれている学生歌です。

宮下(旧姓・菅原)威さんの作詞、「歌いやすい旋律」をめざして作曲されたのは橋場富藏さん。お二人とも旧教育学部の卒業生です。

- みどり樹に 風がながれるように  
さわやかな 若人のうたごえ  
遠く海を越えて  
世界の果まで ひびくよ  
われらの歌う 口唇に  
友情の血潮は あふれる
- 大地から 草が萌えでるように  
たくましい 若人の生命は  
高く峯を越えて  
世界の果まで のびゆく  
われらの輝く ひとみには  
平和のねがい みなぎる
- 大空に陽が 輝くように  
かぎりない 若人の夢は  
はるか雲を越えて  
世界の果まで とどくよ  
結んだ腕で 新しい  
未来を築く われらよ

♩ = 110~120 爽やかに明るく

みどり樹に 風がながれるように さわやかな 若人のうたごえ 遠く海を越えて 世界の果まで ひびくよ われらの歌う 口唇に 友情の血潮は あふれる

※「山形大学大学歌」と学生歌「みどり樹に」は、YouTubeでもお聴きいただくことができます。

## 編集後記

校友会は今年で満10年を迎えることになりました。校友会の設立10周年を記念して「記念講演会、記念式典及び記念祝賀会」を小白川キャンパスにおいて開催できますこと、これもひとえに皆さまの温かいご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

ややもすれば、これまでは校友会って何をしているところなの…? というようなお言葉を頂戴することもありましたが、これからは、校友会事務局の方ですか！ ホームページ見てます！ メールマガジン読んでます！ とお気軽にお声掛けをしていただけるよう、皆さまにとってもより関心度の高い事業や大学等の旬な情報発信に努めて参ります。

これからも引き続きよろしくお願いたします。

山形大学エンロールメント・マネジメント部  
**山形大学校友会事務局**

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12  
TEL:023(628)4867 FAX:023(628)4185  
E-mail:ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉 <http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>

